



パネルディスカッションの様子(右は熊坂さん)

女性の視点で国見の魅力を発信！ 「くにみ女子カフェ」を開催

女性活躍推進フォーラム「くにみ女子カフェ」が12月14日、道の駅国見あつかしの郷で行われ、約40人が参加しました。第1部では、株式会社SMLの熊坂仁美さんが講演し、興味を引く「見せ方」のコツを参加者に伝授。第2部では、町内外で活躍する女性をパネリストに迎え、眠っている町の魅力を広く発信する方法についてパネルディスカッションが行われました。



協力してアイスづくりに挑戦する親子ら

親子で木製のアイスづくりに挑戦！ 木育親子木工セミナー

木育親子木工セミナーが12月15日、観月台文化センターで開かれ、11組の親子らが県産杉材でアイス作りに挑戦しました。セミナーでは、ディ・シー・ツー有限責任事業組合の白井貴光氏ら4人の講師の指導のもと、設計図に合わせて木材をノコギリで切るなど、親子で協力しながら作業を進め、オリジナルのアイスを完成させました。



“くにみの母ちゃん”から料理を学ぶ参加者

地域に受け継がれる家庭料理を学ぶ くにみの母ちゃん料理教室

くにみの母ちゃん料理教室が12月15日、観月台文化センターで開かれ、参加者15人が国見町に受け継がれてきた家庭の“味”を学びました。教室は「簡単おせち」をテーマに行われ、煮物と紅白なます、りんごきんとんの3品に挑戦。参加者は、町食生活改善推進員のみなさんの指導のもと、真剣に作り方を学んでいました。



意見書を手渡す朽木会長(中央)と渋谷福重会長職務代理人(右)

農業施策の積極的な推進を 町農業委員会が意見書を提出

町農業委員会は12月20日、「平成31年度農地等利用最適化推進施策の改善についての意見」を太田久雄町長へ提出しました。意見書は、町の基幹産業である農業の各種施策の積極的な推進についての意見を集約したものであり、「くにみ農業ビジネス訓練所」の活用や今年4月に開設される福島大学農学群食農学類との連携など、8項目の意見が盛り込まれています。



感謝の気持ちを込めて丁寧に

1年間お世話になりました ミニバスケットボールスポ少が大掃除

国見ミニバスケットボールスポーツ少年団は12月22日、団員25人と保護者が上野台体育館の清掃を行いました。清掃は、1年間練習でお世話になった体育館に感謝を込めて毎年行っているもので、団員らは体育館の雑巾がけやトイレ、ロッカー室などを隅々まで清掃しました。きれいになった体育館で、新年から気持ちを新たに練習に励みます。



多彩な“芸”で会場を盛り上げました

“芸”を極めて人生豊かに 第1回寿クラブ芸能祭を開催

国見町寿クラブ連合会主催の第1回寿クラブ芸能祭が11月27日、観月台文化センターで開かれました。芸能祭では、詩吟や大正琴、カラオケ、手品、舞踊など多彩なステージ発表が行われ、会員らが日頃の練習の成果を披露。観客からは盛んな声援が送られるなど、会場が一体となって盛り上がり、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



ピアノ・箏・コーラスのコラボステージで観客を魅了

素敵な音楽で優美なひとときを コンサート『音楽の贈りもの』

「良い音楽を届ける会」主催のコンサート『音楽の贈りもの』が12月1日、観月台文化センターで開かれました。コンサートでは、ピアニストの柳沢慶子さん、箏の高橋萩寿々さん、コーラスの国見フラウエンによる合同ステージなどが披露され、会場に響き渡る美しいハーモニーで、観客を優美な音楽の世界へと誘いました。



太田町長に目録を手渡す大友連盟長(左から2人目)

町の復興に役立てて 日本鳩レース協会が寄付

観月台文化センターで毎年レース鳩品評会を開催している日本鳩レース協会東北部ブロックは12月2日、復興支援に役立ててほしいと町に3万円を寄付しました。贈呈式では、同協会東北部ブロックの太田久雄町長に目録を手渡し、太田町長が「復興のために有効に活用します」と謝意を述べました。



たくさんの遊具を寄贈いただきました

子どもたちに遊びと学びの場を 国見子どもクラブで「プレイルーム」開催

非営利型一般社団法人リトルオーリーブこども基金による1日限定の遊び場「プレイルーム」が12月8日、国見子どもクラブで開かれ、幼稚園児や小学生ら約30人が参加しました。ボランティアのみなさんと一緒に組み立てたピカピカの遊具で遊んだり、英語の絵本の読み聞かせ、宝探しゲームなどを楽しんだ子どもたちは、笑顔あふれるひとときを過ごしました。



交通安全を呼びかける佐藤副町長(中央)と木幡所長(右)ら

道の駅で安全運転を呼びかけ 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動の開始に合わせ、町交通対策協議会は12月10日、道の駅国見あつかしの郷で交通安全啓発活動を行いました。啓発活動には、佐藤弘利副町長、木幡寿夫福島北警察署桑折分庁舎所長、町交通対策協議会委員らが参加し、来場者に反射材などを配りながら、安全運転などを呼びかけました。